

【普及課】

苫小牧市矢代町3丁目1-18

TEL：0144-72-5123

FAX：0144-74-0754

【豊浦事務所】

豊浦町字船見町10 豊浦町役場内

TEL：0142-83-2481

FAX：0142-83-3521



## 秋の森のめぐみ



### カラマツと落葉キノコ（ハナイグチ）は相思相愛

#### ○森林とキノコ

世界中で多くのキノコが樹木を宿主として生きています。シイタケをはじめ、ナメコもタモギタケもマイタケも、道内で暮らす私たちが日常的に食べているキノコたちはもともと森林に生えていたものです。

（今はおがくず培地の出身が多数です）

しかし、キノコは食べておいしい善玉ばかりではありません。

秋の人気者のボリボリ（ナラタケ）はカラマツなどの根系を腐朽させてしまう「ならたけ病」の犯人ですし、サルノコシカケ類はトドマツの溝腐病の原因・・・など森林病害の原因ともなるものも多く、どちらかという森林施業的には歓迎されないことが多いと言えます。

その中でひととき異彩を放つのが、カラマツの林床でつややかに輝くラクヨウ（ハナイグチ）です。



シイタケ



溝腐病のトドマツ

#### ○「共生菌類」という存在

植物と菌類のつながりとして、相手に害をなすことなく、相互に利益を得ながら暮らしている共生関係も多くあり、そうした菌類は「共生菌類」と呼ばれています。

我らがラクヨウくんもその一種で、カラマツから光合成産物をもって生育する一方で、根の周囲で菌糸を伸ばして土壌中の水分やリンなどを吸収する働きをサポート、その結果として葉での光合成速度が高まり、カラマツも必要な光合成産物をより多く確保できる、というメカニズムにより共存共栄を図っているそうです。

「共生菌」の他に枯れ落ちた植物の枝や葉、生物の死体や排泄物に寄生して腐らせて栄養を摂取する「腐生菌」。樹木の生きている枝、幹、葉等に寄生して弱った細胞等から栄養を摂取して病気を引き起こしたりする「寄生菌」。樹木の生きている葉や球果、樹幹等に寄生し、

殺した組織や個体から栄養を摂取する「殺生菌」といったものもあります。

共生菌－ハナイグチ（ラクヨウ）、マツタケ、ホンシメジ、トリュフ等

腐生菌－シイタケ、ナメコ、マイタケ、エノキタケ、ブナシメジ、エリンギ、マッシュルーム等

寄生菌－モミサルノコシカケ等サルノコシカケの仲間全般、カバノアナタケ等

殺生菌－五葉松類葉さび病菌等

多くのキノコは森林生態系において分解者あるいは共生者として重要な働きをしています。寄生菌や殺生菌は生きた木に寄生して樹木の生長を弱め、枯死させることからその存在は病んでいる森林の指標ともなります。

## ○秋のラクヨウを楽しみにするあなたに

過日の新聞報道で、道内では近年ラクヨウの収穫量が減少しており、その要因として次のことが掲載されていました。

- ①ラクヨウは若い林分が好きだが、現在は多くのカラマツ林が施業の遅れなどで林齢が高くなっていること。
- ②間伐を行わず間隔が狭いまの林相では地中にも余地がなく、根が伸びた先に出るラクヨウの菌にとって不適な環境であること。



黄葉したカラマツ林と林床の落葉キノコ

カラマツ山をお持ちの貴方！毎秋の森のめぐみを末永く楽しむためにも、積極的な間伐等の施業をご検討されては如何でしょうか？

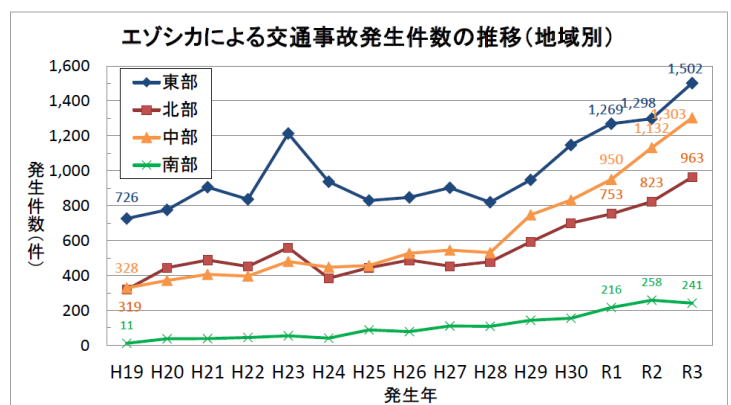
参考：森林保護学の基礎（農文協）  
北海道きのこ図鑑（亜璃西社）

## エゾシカとの衝突事故に気をつけて!!

雪の便りも聞こえる時期となりましたが、これからの季節は日没も早くエゾシカの行動も活発になります。車を運転していると薄暮れや枯れ草等に紛れたエゾシカの発見が遅れてヒヤッとした経験は無いでしょうか？

道内では近年エゾシカによる交通事故が年々増加しており、今年10月には2012年以来となる、エゾシカが要因の死亡事故が発生しています。

エゾシカの推定生息数は、全道で69万頭と、この10年間は横ばい傾向にあるものの、図1のグラフからも分かるように、平成28年からエゾシカによる交通事故が急増しています。



図－1（胆振管内は「中部」）  
「道環境生活部野生生物対策課調べ」

## 【エゾシカとの衝突事故を避けるためには】

### ○1頭見かけたら2頭目に注意！

エゾシカは群れで行動しています。多頭数を見たら遅れてくる者もいるかも！遅れている者は群れについて行くために急いでいるかもしれません！

### ○早朝・夕方以降の運転に注意！

エゾシカの活動が活発になるのは日の出・日没前後の暗くて周りが見えづらい時間帯です。エゾシカの顔に車のライトが当たると目が光るので、暗闇に光るものが見えたときにはエゾシカがいるかもしれません。



### ○車が近づいても逃げないことがある

エゾシカは、車のライトや走行音に驚いて、道路上に立ち止まってしまうことがあります。また、エゾシカの蹄はアスファルトの上では滑りやすく、機敏に逃げてくれないことも。エゾシカの姿が見えたらスピードを緩めて立ち去るのを静かに待ちましょう。

追い払おうと大きな声や音を出すと、エゾシカが驚いてボンネットの上を乗り越えて逃げ出すこともあるようです。気をつけて！

著者も過去に2度の衝突事故を経験しており、いずれも晩秋の夕刻で道路脇から突然飛び出してきたエゾシカを避けられずに衝突し車を損傷しました。1度目は天気の良い夕暮れ時でしたが、300mほど前方を5～6頭のエゾシカが道路を横切って行ったのが見えていたので、その後からまだ来るとは想定していなかったため速度を落とさなかったこと。2度目は日没後の雨降り、頻りにエゾシカが現れる場所であるとの認識もありながら、後続車の急接近に気を取られて注意が散漫になってしまったことが要因と自己分析しています。幸い自身の体には何ら影響はありませんでしたが苦い思い出となっています。

## エゾシカ狩猟期間中です、山に入るときには注意を！

胆振管内（むかわ町以外）のエゾシカ狩猟期間は10/1～3/31（むかわ町10/22～2/28）と定められています。

森林作業や巡回等で山へ入られるときには、狩猟者から見て遠くからでも十分に目立つ赤やオレンジ色などの衣服を着用すると共に、クマ鈴やホイッスルを鳴らすなどして自分の存在に早く気づいてもらうことも有効です。

エゾシカと誤認されやすい白色のタオルや衣服、迷彩服の着用は止めましょう！





## 北海道指導林家 桔梗原 和夫さん おめでとうございます！

北海道指導林家の桔梗原和夫さん（白老町）が、令和4年度農林水産祭参加「第61回全国林業経営推奨行事」において農林水産大臣賞を受賞されました。

令和4年11月10日（水）三会堂ビル石垣記念ホール（東京都）で秋篠宮皇嗣殿下ご臨席の下開催された賞状伝達贈呈式に出席し、織田林野庁長官から賞状を拝受しました。

長年にわたり原木シイタケ栽培を基盤とした地域の模範となる林業経営の実践と、地域の森林整備やシイタケ栽培、林業技術の普及に尽力されてきたことが高く評価されてこの度の受賞となりました。

おめでとうございます！



大日本山林会 永田会長（左）と記念撮影

## 最近の木材市況

### ～ 道林業木材課調べ （2022年10月） ～

#### 【道内の原木流通の動向】

- ・カラマツー原木在庫は例年よりも入荷が少ない。市況は弱保合～強保合。
- ・トドマツー原木の在庫は地域差はあるが概ね順調に入荷している。市況は保合。
- ・チップ原料材は保合。

#### 【胆振管内工場着価格】

樹種	材長 (m)	径級 (cm)	m <sup>3</sup> 当たり単価 (円)	前月差 (円)	100石当たり 単価 (円)
カラマツ	3.65	9～13	7,100	0	197,380
		14～18	8,500	△600	256,300
		20～28	10,200	△400	283,560
		30～	10,900	△200	303,020
	パルプ		5,700	0	158,460
トドマツ	3.65	14～18	9,900	100	275,220
		20～22	11,500	500	319,700
		24～28	12,200	700	339,160
		30～	12,400	200	344,720
広葉樹	パルプ		8,700	0	241,860

注) 前月差欄の△印は、値下がりを示す。